

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスモモの家

公表日 2025年 3月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動に応じて児童が利用するスペースを分けている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		必要に応じて職員を増やし調整している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	階段では声掛けと必要であれば補助も行っている。視覚的構造化、手順書を各所に取り入れている。	階段トイレなどはバリアフリー化していない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃除菌を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室としても使用できる部屋を用意している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		業務を行う際に出てきた気になる点は都度職員で話し合っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		アンケートを配布して意向を把握し改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議だけではなく気になる点は話し合いを設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		実施していない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	外部研修の案内をしている。内部研修の充実を図っていく	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		計画期間ごとにモニタリングを行い保護者の意向も取り入れた支援計画書を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画は職員に共有されている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントシートを配布して記入をお願いしている。他機関で行われた心理検査結果についても共有している	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員でアイデアを出し合い準備等を分担している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		児童の特性や状況に応じてプログラムを作成している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の発達段階に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		職員配置や役割分担の打ち合わせを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後に保護者からの連絡事項やその日の出来事を話す機会を設けている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個別の経過記録表作成し一人一人の児童の状況を時系列で記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度のモニタリングを行い見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		児童相談所や幼、小、保との連携をとっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		情報交換や現在行っている支援の申し送りを行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		申し送りや見学会議などしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		地域支援アドバイザーの訪問を受けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	近隣公園や外出時に交流する機会がある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		ペアレントトレーニング等を行っていない。必要に応じて対処方法を話し合っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	ペアレントトレーニング等を行っていない。必要に応じて対処方法を話し合っている		
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時にニーズをお聞きしてそれにもとずいた支援を計画している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時にニーズをお聞きしてそれにもとずいた支援を計画している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援内容の説明を行い、保護者の同意を行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面談だけではなく必要に応じて電話や連絡帳でも相談を受けつけており支援方法などを提案している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		父母会や兄弟同士が交流する機会を設けていない。今後必要があれば検討していく

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		契約時に苦情に関する相談窓口を案内し適切な対応が出来るように努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月行事予定表を発行している。HPやInstagramで日々の療育を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載されている書類はすべて鍵付きの書庫に保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行うなど意思の疎通ができるように努めている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域の方も参加できるかき氷会を開催した	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルは策定している。定期的な研修を行っているが周知は十分じゃない	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定しており定期的に避難訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		薬などを必要な児童の保護者より状況を共有している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	該当児童はいるが指示書は無し。保護者より情報を共有し対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		非常時の対応についての説明を契約時に行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		非常時の対応についての説明を契約時に行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットを作成し原因と予防策を職員間で話し合っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を中心に研修会を実施している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		該当児童なし。身体拘束を行う状況等についての説明については、支援計画に記載している		